

八王子

サークル

かわらばん 81

新たな参加者に元気をもらって

Mさんが参加されました。いつものメンバーで言いたいことを言い合うのもいいのですが、新しい方が来られると会の雰囲気が変わります。説明もちょっとていねいになったり、関連する話題が広がったりして、あらためて考え直す機会にもなります。

今回は、手を動かして考える話題から始まり、手ごわい問題が続きました。時間内に終わらず、持ち帰る話題が多くなりました。春休みのお土産になりました。

[おもちゃ箱]

「バレンタインパズル」(市橋)

生徒 T さん(高1)が作った問題です。ペントミノのピースを使ってハート形をつくる問題です。ペントミノは全部で12ピースありますが、その中の4枚を使ってハート形をつくることから始めて、5枚、6枚、7枚、8枚、9枚、10枚、11枚、12枚全部を使うという課題になっています。“すごい”の一言です。

「ニキーチンの知育あそびから」(高橋さん)

立方体を3個か4個つなぎ合わせた7種類のパーツを組み合わせて、いろいろな形を作る積み木の問題です。高橋さんが作ったものをいくつか持ってきてくれました。結構難しい。「だめだ」とため息をつく。もらって帰ることになりました。

[実践報告]

1. 瞬時に「11から19までのかけ算」(名雪さん)

$$17 \times 13 = 200 + 21 = 221, 18 \times 19 = 270 + 72 = 342, 15 \times 13 = 180 + 15 = 195$$

こんな計算が素早くできます。その訳は? 今よく売れているという『小学生がたった1日で19×19までかんぺきに暗算できる本』(ダイヤモンド社)で紹介されています。その理由を知るには“面積図”がよいとのこと、「やっぱり面積図!」名雪さんの主張です。確かによく分かります。

2. 「大変だなあ 入試問題」(市橋)

桜蔭中学校と開成中学校の入学試験問題です。新聞の広告で掲載されていました(2023年度、2024年度分)。1番の問題です。私は、問題を時間内(桜蔭中学校50分、(開成中学校60分)に解くのは無理だとあきらめたのですが。“受験生も大変ですね”が素直な感想です。

3. 『世界がもし100人の村だったら』(市橋)

2001年に発行され注目を集めた本です。1990年当時の地球上の人類の様子を端的に表す内容です。その2020年版がインターネットで紹介されています。(書籍として発行はされていません。)この2つを比較してみると、この30年間の変化の様子がよく分かります。教科通信の話題としています。高橋さんは「100分率の学習で使いました」とのことです。

(参加者4名)

今回は 4月26日(金) 18:30~20:30

八王子クリエイトホール(10階) 第3学習室

(内容) おもちゃ箱(教具作り)と実践報告

※事前の参加申し込みは不要です。近くの人をさそって、当日、直接会場においでください。

※会場費 100円

次回は、5月31日(金) 18:30~20:30 八王子クリエイトホール(10階) 第4学習室